

ふらっと.come !

令和 6 年 12 月 20 日 第 87 号

発行者 特定非営利活動法人船橋福祉相談協議会

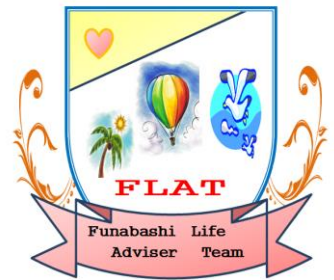
基幹相談支援センター「ふらっと船橋」

〒273-0021 船橋市海神 1-31-31 ジュネス海神 101

TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776

HP <http://flat-funabashi.com/>

Email flat-funabashi@key.ocn.ne.jp



自立支援協議会と共に・・

基幹相談支援センター
統括所長 清水 博和



今年も残り数日になり一年を振り返ると、関係する皆様のご協力に感謝申し上げます。
新しい年も同様に当法人の職員を宜しくお願い致します。

皆さんも様々な会議体へのご参加をされていることと存じます。今回は当方が参加して思うところなどを少しお話してみようかと思っております。この広報誌が皆様の目に届くころだと思いますが、千葉県では「基幹相談支援センター連絡会」が年に数度の研修大会を開催しており、12月26日(木)にも予定しております。基幹相談支援センターの設置においては国が明示する事業を各市町村が福祉計画等に則り我が街の基幹相談センター作りをされていると理解しています。船橋市でも自立支援協議会の承認を受け、平成24年10月より運用が開始されています。今回の基幹大会におけるテーマは「足りないところ。したいこと。自立支援協議会を考える」と題目にあります。この自立支援協議会への参画も基幹相談支援センターの役割とされており、専門部会の事務局を担っているセンターもあれば委員として参加しているセンター、直接での関わりから間接的な関わりにシフトチェンジする市町村も見受けられます。

令和6年4月より自立支援協議会設置運営要綱の一部変更もなされ、この協議会を見直す作業に入っている市町村もあります。その理由としては「マンネリ化や形骸化」という表現が用いられています。皆さんの地域ではどうでしょうか？この協議会自体の役割には「協議会の場で明らかとなった課題等を踏まえ、障害福祉サービスの提供体制の整備やインフォーマルな社会資源を含めた地域における障害者等の支援体制の整備」を受けて事業メニューが組まれています。船橋市でも9つの事業が謳われており、大きな役割としては障害者(児)に関する福祉計画の策定や虐待防止、差別解消の推進等。と同時に「困難事例への対応のあり方に関する協議、調整に関すること・地域における社会資源の開発、改善に関すること」などの記載。

「見直し」が必要とされている要因の多くは協議、調整、開発、改善が議論されにくく報告や承認の場となっていることなどではと感じます。船橋市においては本会(代表者会議)が年3回、各専門部会も同様の回数若しくはそれ以下での開催。(事務局は全て行政が担当)

人口が64万人を超え、町の数が104にもなる都市部における自立支援協議会の役割と運用方法について、現状を26日の大会において少しの時間ですがお伝えする機会を頂きましたので、皆さんと共有しご意見を聞かせて頂ければと思っております。当方は報告や承認も必要と思っておりますが、やはり協議改善の場でありたいと考え、その姿勢で参加して参ります。

着任挨拶

船橋市役所 障害福祉課
給付事業係 高野山雄一郎



日頃より、船橋市の障害福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和6年10月1日付で、障害福祉課給付事業係長として着任いたしました高野山（タカノヤマ）と申します。

私は、平成25年4月に入庁し、生活支援課でケースワーク業務を5年、資源循環課で「ごみの減量」に関する業務を5年、文化課で「ふなばしミュージックストリート」や「千人の音楽祭」など文化振興に関する業務を1年半経験し、障害福祉課に異動してまいりました。

前任者からの引継ぎを受けながら、事業の多さに大変驚いたのも束の間、またたく間に過ぎた2か月でした。給付事業係では、障害者手帳（身体・療育）、各種手当、医療費の助成、意思疎通支援事業など業務は多岐にわたります。多様性が進む現代社会において、障害をお持ちの方々の多様化も進み、それらに添えていくためには、障害福祉サービス等事業者の皆様のご協力が必要不可欠だと日々感じております。

給付事業係長として、一日でも早く市民の皆様や、事業所の皆様のお力になれるよう勉強・経験を通して成長してまいりたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

はじめまして

はーぶ
相談員 宇野 真紀



はじめまして。11月から勤務いたしております、宇野と申します。私は介護福祉士として、介護付き有料老人ホーム、特別養護老人ホーム、老人保健施設などで生活相談員、看護職員などと相談、連携しながら、高齢者を主に携わってまいりました。その中でご利用者様とのコミュニケーションが最もやりがいと感じており、「あなたに話してよかった」など感謝のお言葉を頂く事もあり、傾聴力は自分の強みと考えております。しかしながら、自分の言葉一つで思ってもいないお怒りを頂く事もあり、それは職員間も同じで、業務を滞りなくするには、相手を思って話しをするという事が、とても勉強になりました。ご利用者様と最も近い位置で接し続ける事と、リーダーとして部下をまとめる事で培った「相互理解力」と、これまで介護職員として学んだ知識や経験を活かしながら御社に貢献できるよう努めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

おしらせ

年末年始の業務について

本年もご支援頂き有難うございました。

年末年始につきましては下記の通り休業とさせていただきます。

12月29日（日） ▶▶▶ 1月5日（日）

～来年も皆様にとって良い年になるようお祈り申し上げます～

